

おいちや  
001茶いづみ・みかの原碾茶グループ

～みかのはら 大CHAくせん(大作戦) おいしさを未来につなげる～

<基本情報>

所在地:京都府木津川市  
構成員:23名



<経営概要>

経営面積:83.015ha(グループ計)  
主要作物:茶(緑茶)  
販売先:茶商



<GAPの取組状況>

取引先の茶商からの顧客要求に対応し、GAP認証を取得。  
肥料の安全管理のために必要な「肥料リスト」の作成、「農薬安全データシート」の入手等を事務局で担うなど、団体認証を取得することにより、GAPの取組にかかる農家負担を軽減。

平成27年8月 JGAP2012団体認証を取得  
SAGP(コカ・コーラの持続可能な農業の基本原則)を取得

平成29年4月 JGAP Advance 2016を取得(現ASIAGAP Ver.1)

平成31年4月 ASIAGAP(現Ver.2)へ移行予定

<経営改善>

GAPの取組により、茶商との持続的な取引につながるとともに以下の効果を実現

- ① 蛍光灯の飛散防止の措置、整理・整頓・清掃等により、異物混入事故ゼロ(JGAP2012取得から現在まで)
- ② 危険箇所の啓発掲示により、年1・2件程度あった事故やケガがゼロ(28年度)
- ③ 年1件程度あったクレームがゼロ(28年度)
- ④ 資材の在庫や使用量を計画的に整理・管理することで、無駄な資材購入や有効期限切れ農薬が減少
- ⑤ 年間防除計画を作成し適期に農薬散布を行うことで病害虫の大量発生が無くなり、防除回数を削減(7回/年→6回/年)  
年間約830時間(10aあたり1時間)の労働時間を短縮
- ⑥ 構成員23名の個人レベルにおいても、積極的な改善取組の提案を行うなど、GAPの意識が向上

<GAPの普及に向けた取組>

GAPに興味を持つ農家に積極的に声かけし、2年間で個人4工場、団体3工場の新規取得誘導。今後も継続的にGAPの必要性を訴え、新規に取得するよう誘導。